

紀の川市中学校部活動地域連携・地域移行推進協議会

令和7年7月25日（金）に第5回紀の川市中学校部活動地域連携・地域移行推進協議会が行われました。国でも「地域移行」から「地域展開」という言葉に変化してきた趣旨も踏まえ、紀の川市でもただ単に部活動が学校から地域に“移行”するのではなく、学校も含めた地域コミュニティへ部活動を“展開”していくという共通認識を持ちました。

本推進協議会も2年目を迎え、より具体的な取り組みにつなげていくために、以下のようなことが話し合われました。

推進協議会の様子



【主な協議事項】

○ニーズ調査（案）について

対象者：児童生徒（小学4年生～中学1年生）

児童生徒保護者（小学4年生～中学1年生）

小中学校教職員、関係団体（スポーツ少年団、体育協会、文化協会等）

〈協議会での意見〉

- ・部活動の地域展開について、保護者への周知・理解が必要ではないか。
- ・保護者の費用負担可能額を調査してはどうか。
- ・指導者の謝金希望額について調査してはどうか。
- ・部活動指導員や顧問の先生方の思いを聞いてはどうか。
- ・公民館サークルは、文化部の受け皿とならないか。
- ・当事者の子供がどこを目指するか具体的に聞いてはどうか。（競技力、趣味など）

○コンソーシアム（案）について

部活動の受け皿となってくれそうな関係団体をネットワーク化し、コンソーシアムを構築できれば、これまでの部活動で築いてきた文化も守りつつ、子供たちをサポートしていけるのではないかと提案がありました。

〈協議会での意見〉

- ・公民館サークルやJA、県立学校との連携は身近でやりやすいのではないかな。
- ・今の時代だからこそ、大学とも連携し、オンラインでの指導などもできるのではないかな。

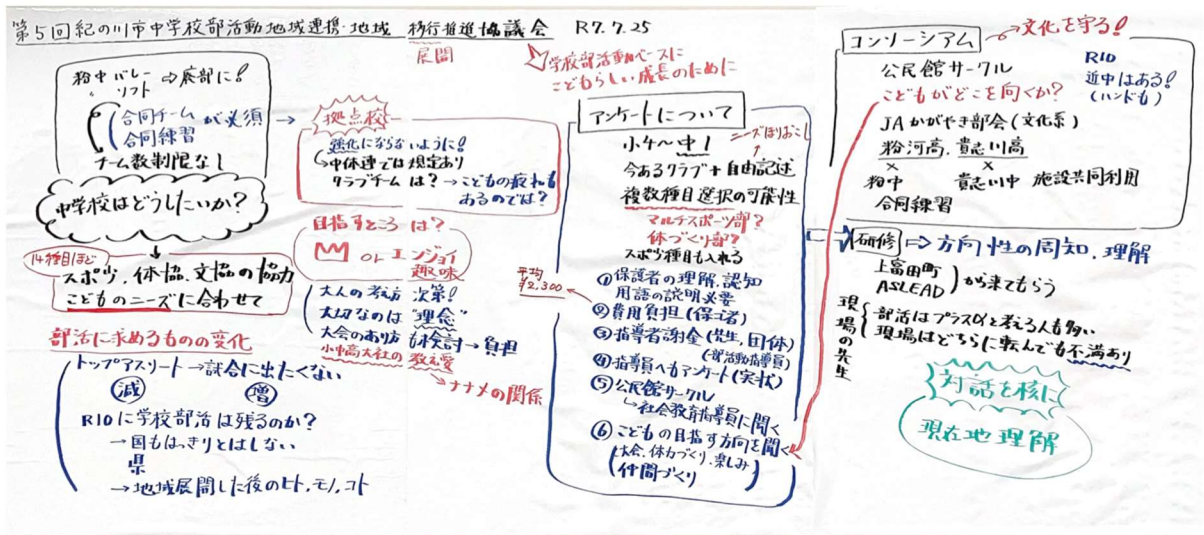
○研修について

教職員や部活動指導員等、関係者への周知と正しい理解を図るための研修機会を提供することが提案されました。

〈協議会での意見〉

- ・県内の推進市町（上富田町やASLEAD 有田〔湯浅町・広川町〕等）から事例を教えてもらえばどうか。

【議論の見える化】



次回（第6回紀の川市中学校部活動地域連携・地域移行推進協議会）は、ニーズ調査の結果をもとに、方向性を検討していくとともに、コンソーシアムの具体的なデザインについて、10月頃に協議する予定となっています。